

# わかあゆ

<http://www.nakagawa.ed.jp/esbato/>

- 自作人形劇に大喜び(校内読書まつり)
- 食物アレルギーをテーマに(学校保健委員会)
- おめでとうございます!
- パンジーの苗ありがとうございます!
- 一斉メール配信の登録は…?
- 郷土の誇り・小砂焼(コラム)

平成 25 年 11 月 6 日  
馬頭小学校  
TEL0287-92-2025  
FAX0287-92-2029

## 自作人形劇に大喜び

校内読書まつり  
10月28日(月)  
~11月8日(金)

「校内読書まつり」が開催されました。今年も、読み聞かせボランティア・グループの黒川さん、益子さん、広瀬さん、大垣さん、島崎さん、高橋さんにお世話になりました。特に、自作人形劇は大好評。低学年の子どもたちは、終わった後に、登場した人形に触れたりしていました。(写真右)

このほかに、読書まつり期間中は、「読書郵便」や「家読おすすめカード」「先生方のお薦めの本紹介」「図書委員による紙芝居」などが行われました。(写真下)



## 食物アレルギーをテーマに 学校保健委員会 10月31日(木)

10月31日(木)、会議室において学校保健委員会が開催されました。学校保健委員会とは、学校の健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進するための組織です。学校医・歯科医・薬剤師・健康管理センター保健師、給食センター栄養士などの関係機関の専門家、及び保護者代表としてPTA本部役員、体育部・広報部の役員が参加しています。

今回は、食物アレルギーをテーマとして研究協議を行いました。学校の担当者からは、本校児童の健康の状況と食物アレルギーに関するアンケート調査の結果などについて説明がありました。また、学校医の木村先生からは、アレルギーについて、その意味や病型、原因、症状、治療などについて説明があり、続いて、エピペンの使用方法について演習を行いました。



### 【学校保健委員会事後アンケートより】

- ・学校での対応もそうですが、やはり家庭での話し合いが必要なのだと思いました。アレルギー症状をきちんと理解していないと重症化すると思います。学校でも児童へ教える機会があればと思います。(Oさん)
- ・アレルギーに対する給食センターの対応ができていのように感じた。私自身もアレルギーに対する勉強がもっと必要だと感じました。(Tさん)
- ・アレルギーに対する認識を深めていかなければならないと改めて感じました。また、給食などについても、多くのご配慮をいただいている事を知りました。エピペンについても、初めて勉強させていただきました。(Mさん)
- ・アレルギーに対しても危機管理の立場から勉強することは大切だと思いました。本日のエピペンの実演や医師からのお話は大変参考になりました。(Hさん)

# おめでとうございます！

## 学校教育ボランティア感謝状

毎年5年生の稲作活動に御協力くださっている佐藤和男さんに、栃木県教育委員会から「学校教育ボランティア感謝状」が贈呈されました。佐藤さんは、苗植えから収穫の指導、草取り、薬散布、ゲストティーチャーとしての講話等、お世話になっています。大変おめでとうございます。



## 地区陸上競技大会入賞

10月19日(土)大桶運動場  
上位入賞者

### 【5年男子】

- 100m・・・滝原くん(2位)
- 80mH・・・磯野くん(3位)
- 1000M・・・大野くん(2位)
- 走り幅跳び・・・滝原くん(1位)
- 磯野くん(2位)
- 走り高跳び・・・岡くん(1位)
- 檜山くん(2位)
- 江面くん(2位)

(写真上は、表彰される3人の入賞者)

### 【5年女子】

- 800m・・・益子さん(1位)
- 走り高跳び・・・益子さん(1位)
- ソフトボール投げ・・・佐藤さん(1位)

### 【6年男子】

- 100m・・・江面くん(1位)

### 【6年女子】

- 100m・・・近藤さん(3位)
- 走り幅跳び・・・近藤さん(3位)
- ソフトボール投げ・・・平山さん(3位)
- 400mR・・・馬頭A(3位)

## 郷土の誇り・小砂焼

～ 郷土資料館企画展を見学して～

今、馬頭郷土資料館で、「烈公と小砂焼～伝えたい陶器のほまれ～」と題して、小砂焼きの歴史について、関連資料や作品を紹介しています。

「烈公」というのは、水戸藩第9代藩主・徳川斉昭のことであり、江戸時代末期の藩財政立て直しのための改革(天保の改革)を進めた人物です。小砂焼は、その政策の一環として始まりました。藩によって窯が作られたのは、1851年のことです。そして、1854年、ペリー来航で、国防の必要性を強く感じた斉昭は、那珂湊に大砲製造用の反射炉を造りました。そのための耐火煉瓦用陶土が小砂から大量に搬出されました。

このころから、民間でも小砂に窯が造られるようになりました。明治から大正にかけては、陶磁器の大量生産を目的とした会社の設立や窯業を中心とした学校の設立など、大きく発展しました。一時期は、生産量が益子を上回っていたこともあるそうです。小砂焼は、海外にも注目され、E.S.モース(大森貝塚発見で有名な学者)のコレクションとして、現在ボストン美術館に所蔵されているものもあります。

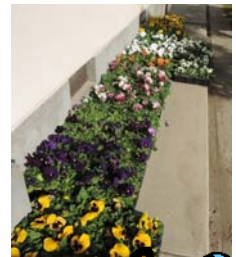
今は、当時の隆盛と比べれば衰退気味と言えなくはないですが、小砂焼は県の伝統工芸品にも指定されているものです。また、今年は、小砂地区が「日本で最も美しい村連合」に加盟するなど、小砂焼を核とした新たな地域おこしの動きも見られます。

馬頭小3年の総合的な学習の時間では、「ふるさと馬頭を自慢しよう」というテーマで学習しています。もちろん、小砂焼も学習の対象として扱われています。子ども達には、このような小砂焼の歴史から、先人の英知を学び、郷土の誇りと伝統を受け継いでいってくれることを期待しています。

## パンジーの苗ありがとう！

笠井和夫さんより、たくさんのおパンジー苗をいただきました。

ありがとうございます。今、飼育栽培委員会で大切に育てています。鉢植えにして飾ったり、お世話になった方々へのプレゼントにする予定です。



### 一斉メール配信の登録は・・・？

10月末、登録率は86%です。  
まだの方は、お早めに登録をお願いします。不明の場合の問い合わせは、  
ユーキャンコールセンター  
0120-940-661  
登録相談会  
日時：11月13日(水)14:00～16:00  
場所：馬頭小会議室



### 企画展「烈公と小砂焼」



期日：11月1日(金)  
～1月13日(月)  
会場：那珂川町馬頭郷土資料館  
入場料：無料